

氏名 室 田 武 伸

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学位授与番号 博 乙 第 2101 号

学位授与の日付 平成 2 年 3 月 28 日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）

学 位 論 文 題 目 Lidocaine の脳浮腫および局所神経機能におよぼす効果に関する
実験的研究

論 文 審 査 委 員 教授 大月三郎 教授 森 昭胤 教授 庄盛敏廉

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

成猫を用い曝気法により脳浮腫を作成し、Lidocaine (Ld) の抗浮腫作用の有無と、局所脳血流量 (ICBF)、視床・皮質投射系および皮質の神経機能に与える影響を検討した。

Ld 非投与群では脳表の曝気12時間後、一時知覚運動野皮質、視床・皮質投射系近傍の白質、視床腹後外側核の各部位において、ICBFの低下および局所脳水分量の増加（浮腫）を認め、これに伴い視床・皮質投射系および皮質の神経機能は障害された。

Ld 投与群では、白質の水分量は非投与群と同様に増加した。しかし、皮質の浮腫およびICBFの低下や、視床・皮質投射系および皮質の神経機能の障害は軽度にとどめられており、Ldは浮腫による神経機能の低下を防ぐ効果があると考えられた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は曝気法により作成した脳浮腫について、Lidocaine の抗浮腫作用を、局所脳水分量、局所脳血流量、体性感覚誘発反応および直接皮質反応による神経機能の変化により明らかにしたものである。脳浮腫に対する Lidocaine の効果について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。